



ライブ配信



オンデマンド配信

交通状況の評価

～交通工学の基礎から発展まで～

■参加費

日本道路協会

会員 3,000円

非会員 5,000円

開催内容

交通工学は、人や物の移動を明らかにして、安全・快適な交通環境の実現を目的とする土木工学の一分野であり、道路の計画や設計に欠かすことができない分野です。

本講演会では、交通工学の中でも、特に道路の安全と円滑な交通を確保するために重要となる交通状況の評価を中心に、基礎的な知識から最新の研究課題の動向まで、幅広く紹介します。

プログラム

日程：3月30日 月 13:30～15:00

オンデマンド配信 4月6日～5月8日

講演1 13:30～14:15 道路交通状況の評価手法

講師：野中 康弘

株式会社 道路計画 代表取締役（芝浦工業大学連携大学院 客員教授）



道路交通を専門とする建設コンサルタント。『豊かな暮らしは安全で円滑な移動が保障されてこそ達成される！』をモットーに、道路の計画・設計や交通現象分析、交通運用検討等の業務に従事。大学との協働による研究活動、各種学会における活動にも積極的に参画。

道路の交通状況評価に必要な基礎知識をはじめ、ボトルネックにおける交通状態量の評価方法について、具体的な事例を交えて解説します。また、交通容量に関する近年の研究動向や研究課題について紹介します。

講演2 14:15～15:00 道路交通サービスの質の向上に向けて

講師：内海 泰輔

株式会社 長大 社会基盤事業本部 計画事業部 計画4部 部長
（交通工学研究会 道路の交通容量とサービスの質に関する研究グループ（HCQSG）委員長）



建設コンサルタントに入社以来、20年以上にわたりITSや自動運転などの分野を中心に道路交通関連の業務に幅広く従事。特に「性能照査型」の道路計画・設計については、2005年より研究に携わり、委員会活動等を通じ実務への導入・展開を推進。

道路の計画・設計がこれまでの「交通需要追従型」から「サービスレベル達成型」へと大きな転換期を迎えるなか、「性能照査型」の考え方をもとに、実務者として今後改めて意識すべきポイントを紹介します。

申し込み方法

参加を希望される方は、当協会ホームページの参加申込フォームからお申し込みください。



講習会にご参加頂いた方には、今後のセミナー内容や開催方法等に関するニーズを把握するためのアンケート調査にご協力いただきますので、よろしくお願いします。

お知らせ



本セミナーは、土木学会CPD制度の認定セミナーとなっており、土木技術者の皆様の知識向上や自己研鑽の証跡となるCPD単位が取得可能です。

日本道路協会 入会ご案内

正会員、特別会員の入会はこちらから随時受付けています。

<https://www.road.or.jp/member/index.html>

